

教えて！ ドクター Q&A

(株)宣通 (052)979-1602 広告

Q 20年前に乳房切除を受けています。友人たちと温泉に行きたくて最近乳房再建に興味があるのですが。

A 現在、乳房切除後の乳房再建には二つの方法が保険適用になっています。背中やお腹の組織で再建する自家組織法とシリコン製のバッグを用いるシリコンインプラント法です。

自家組織法は背中やお腹の皮膚と皮下脂肪を胸部に移動させる方法と、筋肉を残してマイクロサージャリーという顕微鏡下に血管吻合を要して移動させる方法があります。入院期間が長く背中やお腹に傷がつくという欠点がありますが、腕のいい医師の手術を受ければ、暖かくて柔らかい乳房が手に入ります。

シリコンインプラント法は、

まずエキスパンダーという皮膚を膨らますバックを挿入し、徐々に中の水を追加して大きくしていく、数ヶ月後にシリコンインプラントに入れ替えます。現在はより自然な形である涙型のシリコンインプラントが主流になっています。二回の手術が必要なのが欠点ですが、体の他の部位に傷がつかないという利点がありますし、エキスパンダーを用いない一回法もあります。

どちらの方法にも他にも利点と欠点がありますが、乳房切除後の平な胸のままであるより、膨らみを取り戻した方が女性らしい服装もしやすくなり、温泉などの公衆浴場にも足を運びやすくなり、精神面も含めた生活の質の向上が見込まれますのでお勧めいたします。手術の詳細は専門医におかかりになってご相談ください。



院長 山口 悟
(ナグモクリニック名古屋)

乳がん患者のQOLを重視し、皮下乳腺全摘手術・同時再建術や他院での全摘出後の再建術など乳がん治療全般及び美容形成外科手術を行っている。1997年福島県立医科大学大医学部卒業。ヨーロッパ癌センター(イタリア)、埼玉医大総合医療センターなどを経て、2009年ナグモクリニック名古屋院を開院。医学博士、乳腺専門医、形成外科専門医。
<https://www.nagumo.or.jp/nagoya>